

南関町教育長だより

道

第26号 R1.12.12

インフルエンザが流行
しています。感染予防に
努めましょう!!



「もつかっただけど楽しかった」 子ども会ウォークラリー

十一月二十三日に三小校区において町子ども会連合会主催のウォークラリーが開催されました。親子で一〇〇名を超える参加者があり、10キロほどの道のりを楽しくにぎやかに歩いておられました。天候にも恵まれ、気持ちよい一日でした。コースの途中にはチエツクポイントが設けられ、中学生が考えたゲームを楽しむことができました。焼き鳥も振舞われ、疲れた子どもたちは元気を回復して歩いていきました。

教育委員会では、「南関町を愛し、町に根差した人材の育成」という思いを持つて教育への取組を行っています。このウォークラリーは、参加した人たちのつながりを深めるとともに、南関町のよさを知り愛着を持つてもらうとともに意義ある活動だと思います。皆さんに南関町に愛情を抱いてもらおうためには、まず本町の人・物・自然に触れ、その良さを知ることが第一歩だと考えるからです。これから多くの子どもたち保護者の方々が参加され活動が盛り上がっていくことを期待しています。私も自転車でコースを回り、心地よい汗をかくことができました。

企画いただいた子ども会役員の皆さん、ボラティアで協力していただき中高生や保護者の皆さんにはありがたい気持でいっぱいです。

今日の論語

「**子の曰く「その身正しければ、令せざれども行わる。**」
その身正しからざれば、令すと雖も従わず。」
と。
先生が言われた「自分が正しければ、部下は命令しなくても行動を起こすが、自分が正しくなければ、命令しても従われない。」と。

リーダーとしての資質や心構えを示す言葉です。人をまとめる立場にある人は、言動を常に振り返り自分を律していかねばならない。大変厳しく、難しいことですがやらねばならないと思います。

家庭教育講演会

十一月二十一日にukaranにおいて元エアロビック競技日本代表の大村詠一さんを招いて実施しました。小学生の時に一型糖尿病を患いながらも第一人者として活躍された方です。

お話の中で、「家庭は、できないを見つける場ではなく、できるを見つける場であつて欲しい。」という言葉が心に残りました。大村さんは、病気を理由に自分がやりたいことをあきらめさせられたことはなかつたとおっしゃいました。コーチで付けされた愛情であつたと思います。家母親の厳しい躾と指導は、その思いに裏族のあり方の一つとして考えさせられました。短い時間でしたが、心が暖かくなれるひと時でした。

中学校部活動地域展開

シンポジウム

子どもたちが、生涯を通して主体的にスポーツを楽しむ環境づくりを町民みんなで考えるために、町にゆかりのあるアスリートをお招きして、次の通りシンポジウムを開催します。

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 日時 | 令和8年1月18日（日）13：30～ |
| 2 | 場所 | 南関町交流拠点施設 ukara |
| 3 | パネリスト | 読売巨人軍 井上 真二氏
元ゴールボール日本代表 浦田 理恵氏
女子プロゴルファー 大里 桃子氏 ほか |

町民の皆さんとのたくさんのご来場をお待ちしております。詳しくは町HPに掲載されます。